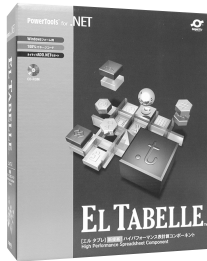


# Visual Studio.NET/.NET Framework関連ツール新製品レビュー

# NEW PRODUCTS



## El TABELLE for .NET

専用デザイナー、11種類のセル型で  
多彩なスプレッドシートを作成可能な表計算コンポーネント



関谷 寛幸 SEKITANI, Hiroyuki

問い合わせ先 グレープシティ株式会社

TEL : 022-777-8211

URL : <http://www.grapecity.com/>

FAX : 022-777-8233

MAIL : [sales@grapecity.com](mailto:sales@grapecity.com)

### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

### Environment

ターゲットOS  
Windows 2000/XP

価格  
78,000円

### はじめに

「Windowsプラットフォーム上で使用する表計算ソフトと言えば？」という質問に「Microsoft社のExcel」と回答される方が多いのではないのでしょうか。

また、フロントエンドのGUIツールとしてExcelを使いたい、という要求も無視できないのが現状だと思います。

しかし、データの入力規制はどうしてもかけたい。データベースとも連携したい。今から開発するのだから.NETに対応したい。そんな、多彩な要望に答えてくれる製品が、今回ご紹介する「El TABELLE for .NET」(以下El TABELLE)です(El TABELLEは“エル タブレ”と発音します)。この製品は、グレープシテ

ィ株式会社が開発/販売を行ない、同社が発売するSPREAD+InputMan+αの機能を搭載したVisual Studio .NET (以下VS.NET) のための表計算コンポーネントです。さまざまなユーザーインターフェイス(データベース編集画面や拡張リストボックス、伝票入力など)の構築を強力に支援してくれます(表1)。

### El TABELLEの特徴

El TABELLEは、次のコントロール、ユーティリティなどで構成されています。

#### ■ Workbookコントロール

複数のSheetオブジェクトをまとめて

表1: El TABELLE for .NETの主な機能

機能	詳細
データ連結	ADO.NETとの連結
ファイル入出力	デザイナーによる設計情報を独自のファイル形式で保存/読み込みが可能
印刷	.NET Frameworkの印刷機能との連携
ソート	1~256のソートキーによる行の並び替え
セル編集	コピー/移動、ロック、連結/連結解除、固定行/固定列の設定、ドラッグ&ドロップ
日本語入力	IMEのオン/オフ、IMEモードの設定
操作モード	通常モード、読み取り専用モード、行モード、列モード
数式計算	237種類の組み込み関数(四則演算、論理関数など)、ユーザー定義関数
表示	文字色、背景色、フォント、文字サイズ、文字の特殊効果、罫線、背景パターン

管理（複数シート間で共通する数式の設定保持も含む）するコントロールです。

マルチシート表示（ひとつのコントロール上で複数のシートを操作）ができます。ですから、たとえば月別の集計を各シートで行ない、最終シートで年間集計を出すなど、内容に応じて処理を分け、効率的な統計や分析を可能にします。

### ■Sheetコントロール

SheetコントロールはEl Tabelleの中核となる要素です。表計算やデータ表示のためのスプレッドシートで、セル単位のパターンや書式、セル型の設定により多様な表現を可能にします。

特に表計算性能は、237種類の豊富な関数群（データベース12種/財務15種/情報17種/論理6種/検索11種/数学55種/統計75種/文字列32種/日付14種）と高速な計算エンジンにより、各種のデータをすばやく集計し、その結果が物語るさまざまな情報の解析を支援します。

また、データベースと接続し、データ型に合った編集画面を自動的に提供することもできます。

### ■El Tabelleデザイナー

El Tabelleデザイナーでは、WorkBookコントロールおよびSheetオブジェクトに対する設定を、アプリケーションでデータ入力するような手軽さで提供します。すべての設定はビジュアルな画面とマウス操作で行なうことができます。そして、ほとんどの設定画面では設定結果をプレビュー表示でき、設定した内容をそのままコントロールに反映したり、ファイルに保存したりすることもできます。

また、設定結果はWorkBookコン

ロールに直接反映するだけでなく、Visual Basic .NET（以下VB.NET）またはVisual C#.NETのソースコードとしても出力できます。

### ■アプリケーションを作成する準備

El Tabelleには、パッケージ製品とダウンロード製品があります。今回は、ダウンロード製品をインストールしました。

インストールの際、「プロダクトキーの入力」画面でプロダクトキーを空白のままに[次へ]ボタンをクリックして進むとトライアル版としてインストールすることができます。しかし、プロダクトキーを入力した場合でも間違っているとトライアル版と認識されますので注意が必要です。


トライアル版と製品版との違いは、設計時や実行時にトライアル版ダイアログが表示されるだけです。機能や期間による制限がないので、納得がゆくまで試用することができます。

本稿では、VB.NETで簡単なWin

dowsアプリケーションを作成しながら、El Tabelleの機能を紹介してゆきます（図1）。

### ■ワークブックを作成する

まずは、開発環境でWorkBookコンポーネントを使用できるようにしましょう。

VS.NETのメニューから[ツール]-[ツールボックスのカスタマイズ]を選択します。「ツールボックスのカスタマイズ」ダイアログが現われるので、「.NET Frameworkコンポーネント」タブで「WorkBook」コンポーネントにチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。すると、ツールボックスの「Windowsフォーム」タブにWorkBookコントロールのアイコンが追加されます。

さっそく、WorkBookコントロールをフォームに配置しましょう。配置すると、VS.NETのデザイナーは以下のようにWorkBook1というGrapeCity.Win.ElTabelle.WorkBookのインスタンスを自動生成します。

図1：今回作成する.NETアプリケーション

